
第六 地域保健活動

- 1 保健福祉サービス調整推進会議
- 2 保健師活動
- 3 人材育成
- 4 組織育成(愛育委員会)
- 5 健康危機管理(災害等)

第六 地域保健活動

1 保健福祉サービス調整推進会議

保健・医療・福祉など各分野のニーズを併せもつ対応困難な在宅要支援者(高齢者、結核患者、精神障がい者、難病患者、障がい児等)に対して、適切なサービスを効果的・効率的に提供するとともに、在宅ケアのシステム構築を目指した会議の開催や参加。

令和5年度(単位:回数)

種別	母子	精神	老人	難病	結核	その他	合計	
回数	83	135	22	13	10	6	269	
内 訳	保健課	0	38	0	12	10	6	66
	倉敷保健推進室	46	46	15	1	0	0	108
	児島保健推進室	17	29	4	0	0	0	50
	玉島保健推進室	11	6	0	0	0	0	17
	水島保健推進室	7	13	3	0	0	0	23
	真備保健推進室	2	3	0	0	0	0	5

2 保健師活動

地域の保健福祉サービスの現状と住民のニーズを総合的に検討しながら、保健所政令市として、倉敷市保健所、各保健福祉センター等の保健分野保健師があらゆる健康状態の住民を対象に、予防活動及び地域保健活動を推進している。

(1) 保健師人員及び担当状況

所属名	保健師数	内 訳		地区別	地区別人口 ※年度末人口	一人当り 担当人口
		担当外	地区担当			
保健課	21	5	16	-		
健康づくり課	12	12	0	-		
倉敷保健推進室	22	1	21	倉敷	231,184	11,009
児島保健推進室	11	1	10	児島	64,376	6,438
玉島保健推進室	11	1	10	玉島	62,422	6,242
水島保健推進室	13	1	12	水島	87,736	7,311
真備保健推進室	3	0	3	真備	20,388	6,796
令和5年度計	93	21	72	全市計	474,330	-

※ 保健師数については、分散配置(人事課、健康長寿課、子ども相談センター等)は含まない。

(2) 家庭訪問等指導状況(対象者別被指導人員とその割合)

令和5年度

区分	感染症		結核		精神		心身障害 (児・者)		成人・老人		小児慢性 特定疾病		難病	
	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ
被指導人員	26	26	50	164	496	1,186	70	135	130	153	16	17	59	96
割合 (%)	0.7	0.4	1.4	2.8	13.8	20.2	2.0	2.3	3.6	2.6	0.4	0.3	1.6	1.6

区分	妊産婦		乳児		幼児		児童虐待		その他		計	
	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ
被指導人員	679	894	1,072	1,462	459	751	421	802	118	197	3,596	5,883
割合 (%)	18.9	15.2	29.8	24.9	12.8	12.8	11.7	13.6	3.3	3.3	100	100

3 人材育成

(1) 現任教育

対象	研修名・研修内容	実施日	受講人数(人)
新任期	第1回「みんなで育ちあおう 保健師って楽しい！」	R5.5.2	12 (1年目6、 育休明け1、 プリセプター5)
	第2回「母子保健基本のき ～妊娠期から産後の離乳～」	R5.6.30	19 (新任期15、 プリセプター4)
	第3回「もっと楽しくなる！組織育成」	R5.8.22	20 (新任期15、 プリセプター5)
	第4回「事例検討～アセスメント力向上を目指して～」	R5.10.30	20 (新任期15、 プリセプター5)
	第5回「もっと地域を好きになる ～地区診断の気づきを皆で共有しよう～」	R6.1.29	19 (新任期15、 プリセプター4)
新採用保健師の プリセプター会議	第1回プリセプター会議 「人材育成ガイドラインの1年目のキャリアパス(5月末)の進行状況や新任期保健師の育成について」 「第1回新任期保健師研修会の振り返り、第2回・第3回新任期保健師研修会の内容について」等	R5.6.14	5

新採用保健師の プリセプター会議	第2回プリセプター会議 「第2回、第3回新任期保健師研修会の振り返り」 「第4回新任期保健師研修会の内容について」 「人材育成ガイドラインの1年目のキャリアパス(8月末)の進行状況について」等	R5.9.5	4
	第3回プリセプター会議 「第4回新任期保健師研修会の振り返りについて」 「第5回新任期保健師研修会の内容について」 「来年度の研修の進め方について」等	R6.1.12	5
中堅前期	「新任期保健師の育成におけるプリセプターとして大事にしていきたい視点を考える」	R5.8.28	14
中堅後期	「リーダー期を見据えて備えておくべき能力」	R5.11.27	13
管理期	「管理期の保健師として求められる能力・役割 ～2040年に向けた保健師活動のあり方～」	R6.1.16	16
分野別研修 災害伝承 リーダー期	「平常時のどのような保健活動が健康危機発生時に つながるのかを考える」	R5.11.15	27 (リーダー期 21、 中堅後期 6)
分野別研修 精神保健 中堅前期	「本人・家族の強みを見出し、寄り添った支援を行う ために」	R6.2.26	16 (中堅前期 14、 希望者 2)

(2) 学生実習指導

看護師・保健師・栄養士・医師などの専門職を目指す学生に対して、地域住民の健康水準の向上と健康に生活できる環境づくりに努めている保健所・センターの役割を、講義・実践などを通して指導する。

種別	3		4		5	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
保健師学生	1	8	3	18	4	20
栄養士学生	6	31	5	30	5	30
歯科衛生士学生	1	12	2	68	2	73
医学生	-	-	1	6	2	17
看護師学生	1	40	1	38	2	50
中学生	-	-	1	2	5	17

4 組織育成(愛育委員会)

<事業概要>

愛育委員は、母子保健を中心とした生涯にわたる健康づくりの推進役として、地域住民の健康づくりのための実践活動をしている。その活動を効果的に促進するために、組織育成の充実・強化を図る。

<対象者>

愛育委員

<内容>

総会・理事会・研修会・各種健診受診勧奨・友愛訪問等への支援

第六 地域保健活動

<愛育委員数及び理事会・研修会の開催実績>

年度	区分	学区(地区)数	愛育委員数	世帯数	委員1人 あたり世帯数	理事会・研修会	
						回数	人数
3		64	3,884	215,881	55.6	873 (5)	15,072 (66)
4		64	3,807	216,756	56.9	1,086 (5)	19,187 (68)
5		63	3,714	218,626	58.9	1,282 (5)	23,030 (65)
内 訳	倉敷	19	1,377	104,954	76.2	399	7,839
	児島	12	776	31,008	40.0	249	3,745
	玉島	14	797	31,580	39.6	303	5,613
	水島	11	564	42,351	75.1	230	4,671
	真備	7	200	8,733	43.7	101	1,162

※ 世帯数は前年度3月31日現在の数、愛育委員数は当該年度4月1日現在の数。

※ ()内の数については、愛育委員会連合会理事会の数。

なお、内訳には()内の数は含まない。

5 健康危機管理(災害等)

<事業概要>

地域における健康危機管理の観点から、地域住民組織及び地域の関係機関とともに、有事に迅速かつ有効な対応ができるような体制の整備を目指すとともに、保健所が健康危機における中核的機関としての役割を十分に果たすことができるように体制整備を行う。

(1) 災害時医療体制の構築

令和5年度

内容	参加者等
①県西部COVID-19入院診療体制検討会(オンライン)へ参加 情報交換、医療体制について	①岡山県、備中保健所、市保健所、 県西部医療機関 14回
②倉敷市大規模災害時医療部門初動対応ネットワーク(仮称) 構築準備会 倉敷市保健所における災害対応報告、課題の整理	②倉敷市連合医師会5人、副市長、 防災危機管理室2人、市保健所

(2) 住民自助・互助での災害時対応力の向上

令和5年度

内容	参加者等
減災のための地域づくり等について普及啓発を実施(通年) 平成30年7月豪雨災害や令和6年能登半島地震応援派遣の経験 等から住民同士のつながりの大切さ等を伝える啓発	愛育委員会、小地域ケア会議、栄養 改善協議会、親子クラブ、自主グ ループ等 78回 1,865人

(3) 倉敷市保健所対策本部医療保健班としての機能強化

令和5年度

内 容	参加者等
①新型コロナウイルス感染症対策 倉敷市保健所班長会議等 新型コロナウイルス感染症の対応や方針について協議	①保健所職員 18回 延283人
②倉敷市保健所災害対応訓練 DHEAT 研修伝達 災害対応訓練(止水板設置・土のう設置・対策本部設置等)	②保健所職員 33人
③健康危機管理研修会 R5.8.1 (集合・オンライン) 「深部血栓症とエコノミー症候群 ～大規模災害時に意識すべきリスクと求められる対応～」 講師:種本 和雄 医療専門官	③保健所職員 34人
④健康危機管理研修会 R6.1.17(集合・オンライン) ・「倉敷市保健所における平成30年7月豪雨災害への対応」 講師:倉敷市保健所 吉岡 明彦 所長 ・「南海トラフ地震が発生した場合に想定される倉敷市の被害と平成30年7月豪雨災害における倉敷市の対応について」 講師:防災危機管理室 大本 進 参事	④保健所職員 37人
⑤保健所内 災害対策ワーキング会議 マニュアルやアクションカードの見直し等についての検討	⑤保健所職員 6回 延85人

(4) 熱中症予防・ヒートショック予防

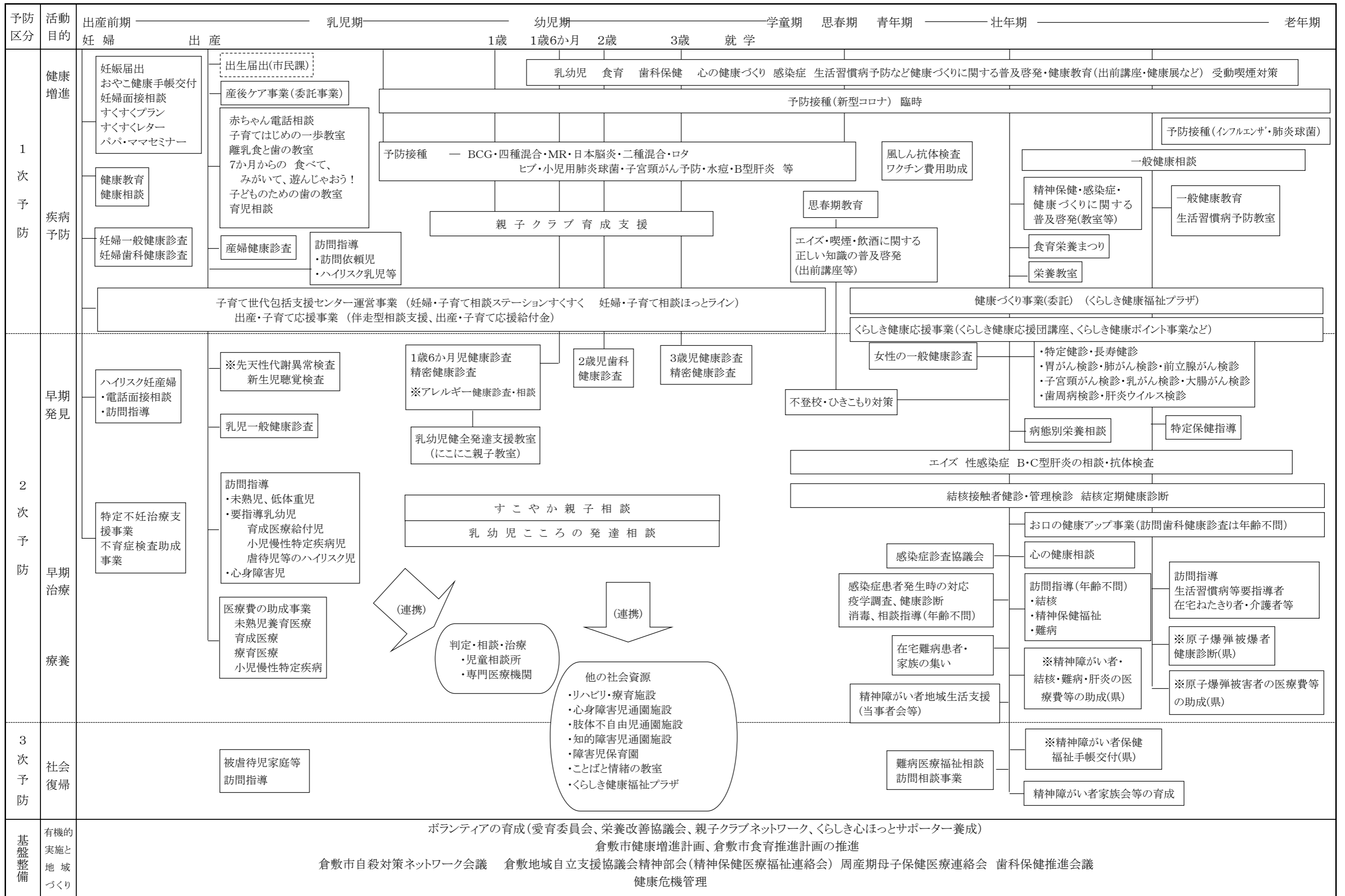
令和5年度

内 容	参加者等
熱中症予防の啓発 Instagram 等の活用	愛育委員会、小地域ケア会議、親子クラブ等 86回 1,850人
ヒートショック予防の啓発	愛育委員会、小地域ケア会議 等 33回 855人

(5) 令和6年能登半島地震 保健師等派遣

内 容	参加者等
<p>令和6年1月1日 地震発生 マグニチュード7.6(最大)</p> <p>派遣期間 : 令和6年1月10日～1月29日</p> <p>派遣先 : 石川県珠洲市</p> <p>派遣体制 : 岡山県チームとして、第2班から第4班までを倉敷市が担当</p> <p>活動内容: 珠洲市保健医療福祉調整本部の大方針『災害関連死の防止』のもと、避難所巡回、要支援者の継続フォロー、在宅避難者のローリング、個別支援を行う。</p>	<p>派遣合計人数: 事務職8人 保健師12人</p>

(資料) 保健所における対人保健業務 令和5年度



※は協力事業

